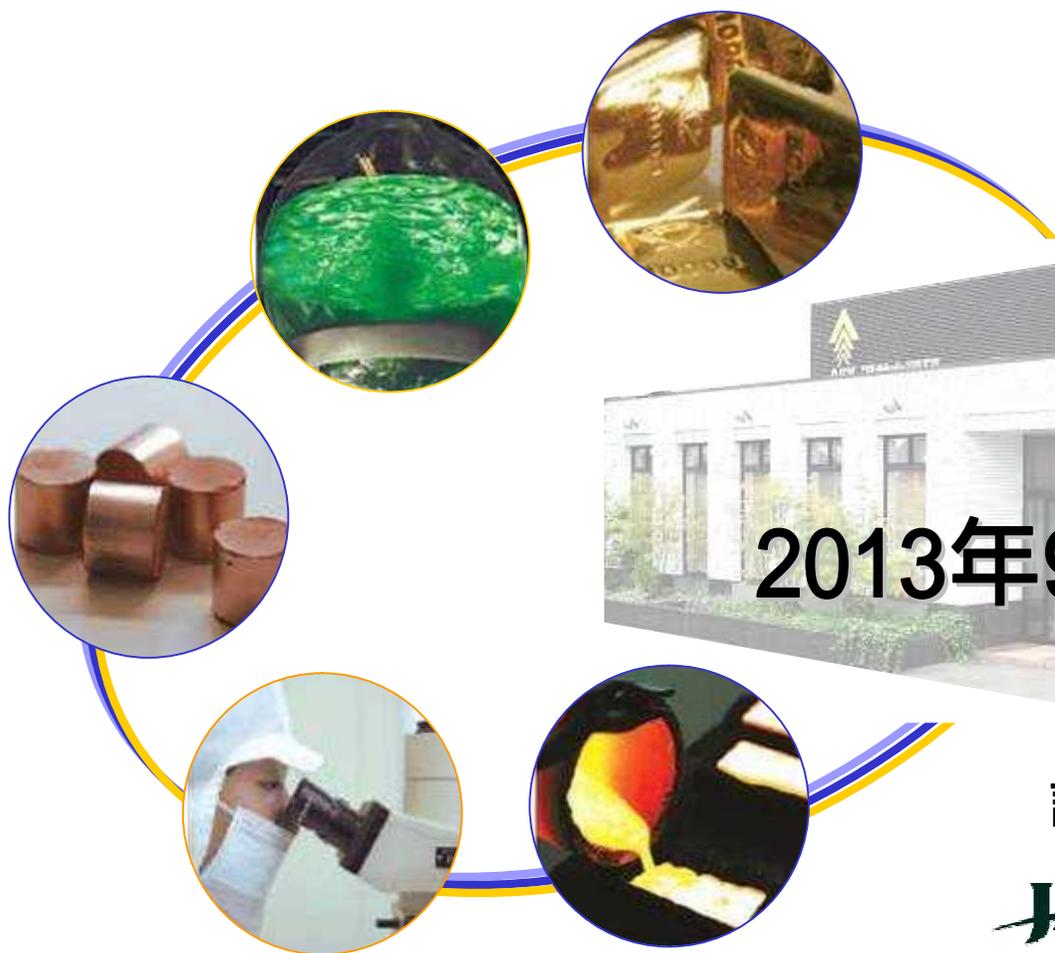




株式会社アサカ理研

～ 貴金属事業と環境事業により、
地球環境保護に貢献する
「市場創造型企業」～



2013年9月期 第2四半期 決算説明会

説明資料

2013年5月30日

JASDAQ 証券コード 5724

□ 2013年9月期第2四半期業績 売上高減少、営業減益

売上高変化の主要因

- 減少要因 取引形態変更による受託加工取引割合の上昇
電子部品・デバイス工業の落ち込みによる数量減
- 増加要因 貴金属価格の上昇

なお、取引形態変更による売上高減少は、営業利益に影響を与えない。
減益の要因は、数量減と、研究開発を含めた新規事業開発費用の増加。

□ 経営戦略と新規事業開発について

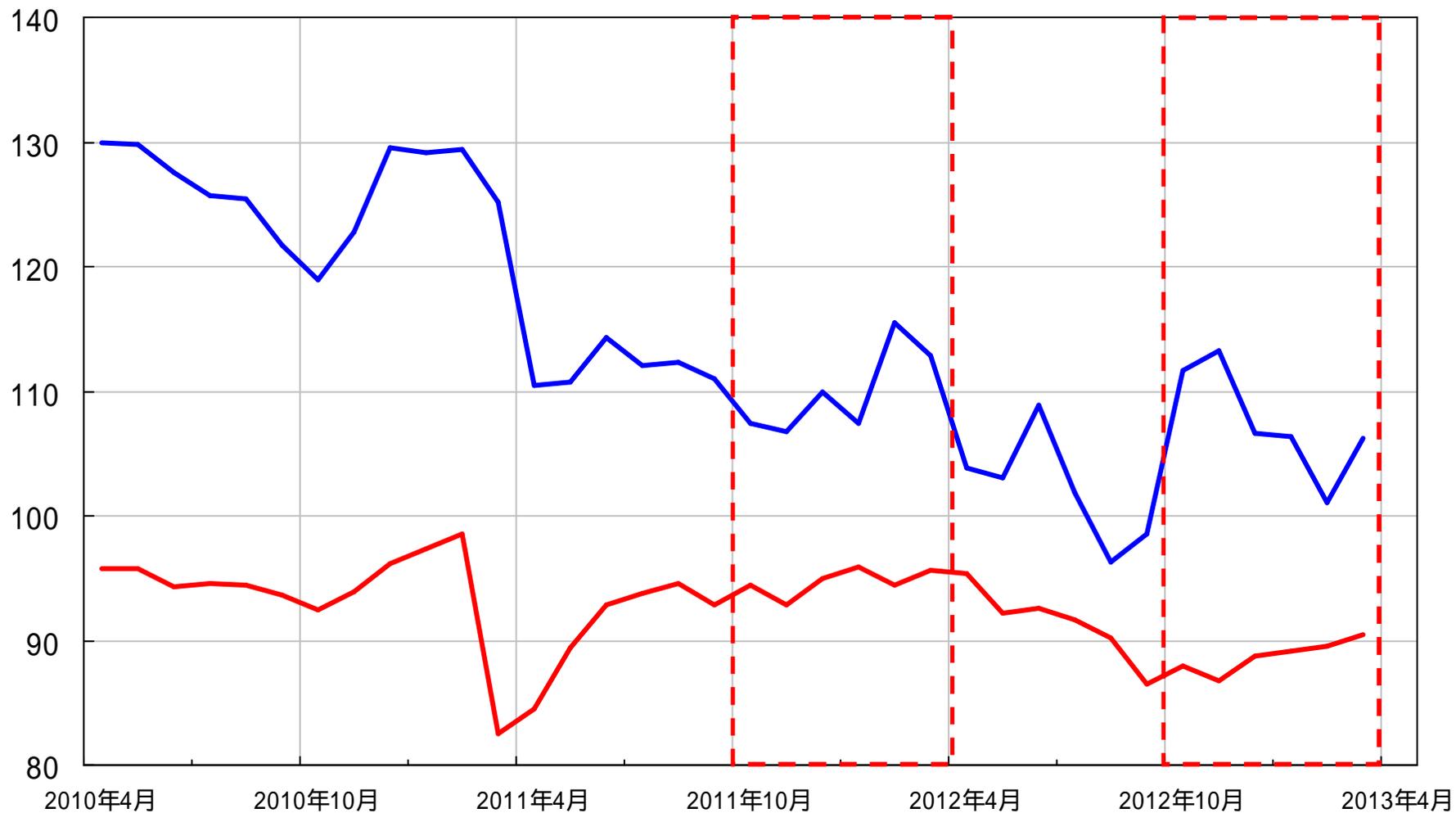
外部環境(貴金属・銅相場と電子部品・デバイスの生産動向)の影響を受けにくい事業構造を実現し、安定した成長を目指す。
そのための投資を行い、新事業の創出を推し進める。

- 第一部 2013年9月期 第2四半期決算実績
- 第二部 2013年9月期 業績予想
- 第三部 当社の現状と今後の戦略

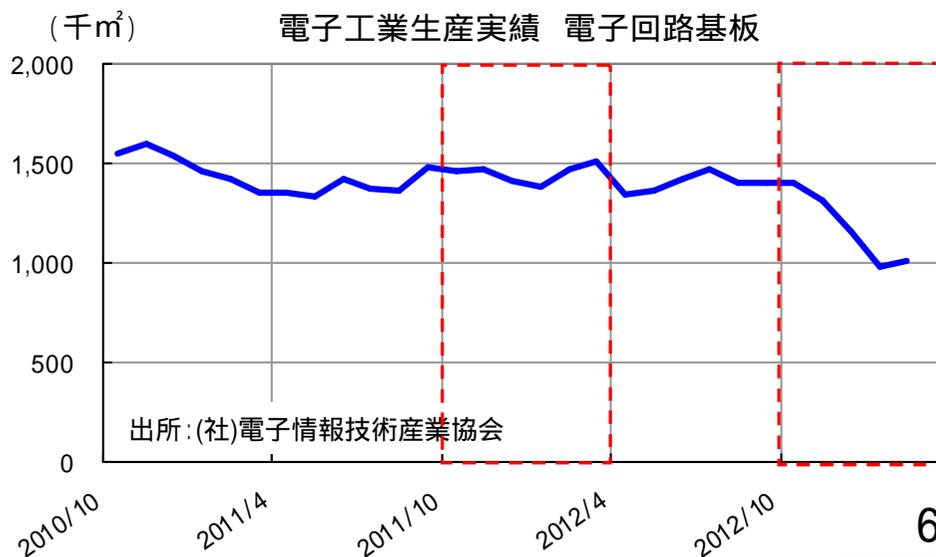
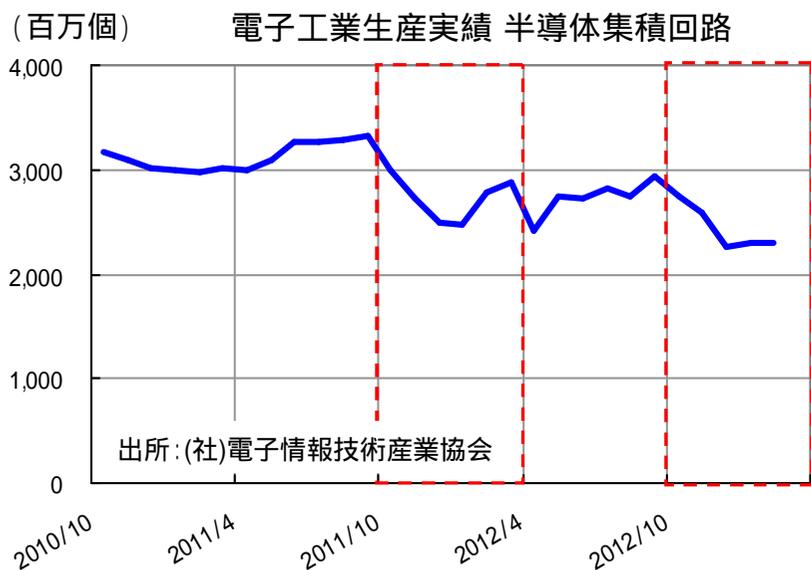
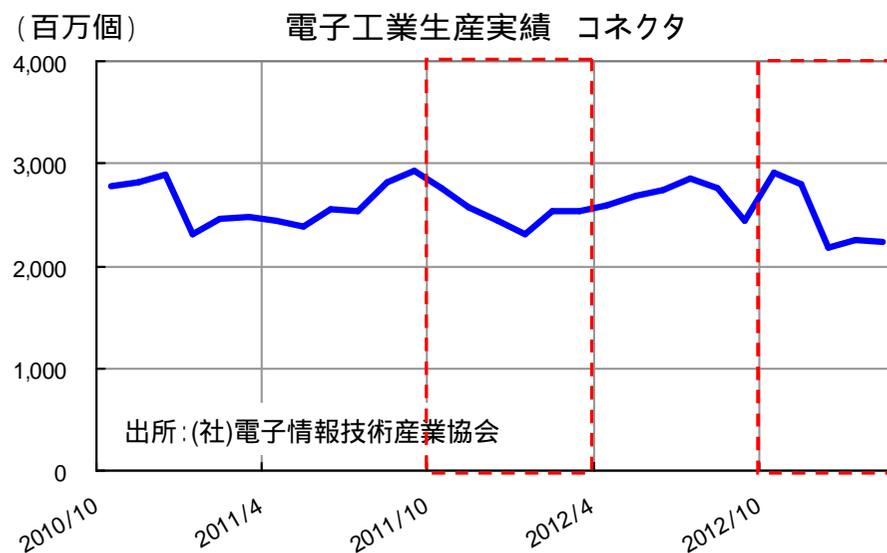
- 第一部 2013年9月期 第2四半期決算実績
- 第二部 2013年9月期 業績予想
- 第三部 当社の現状と今後の戦略

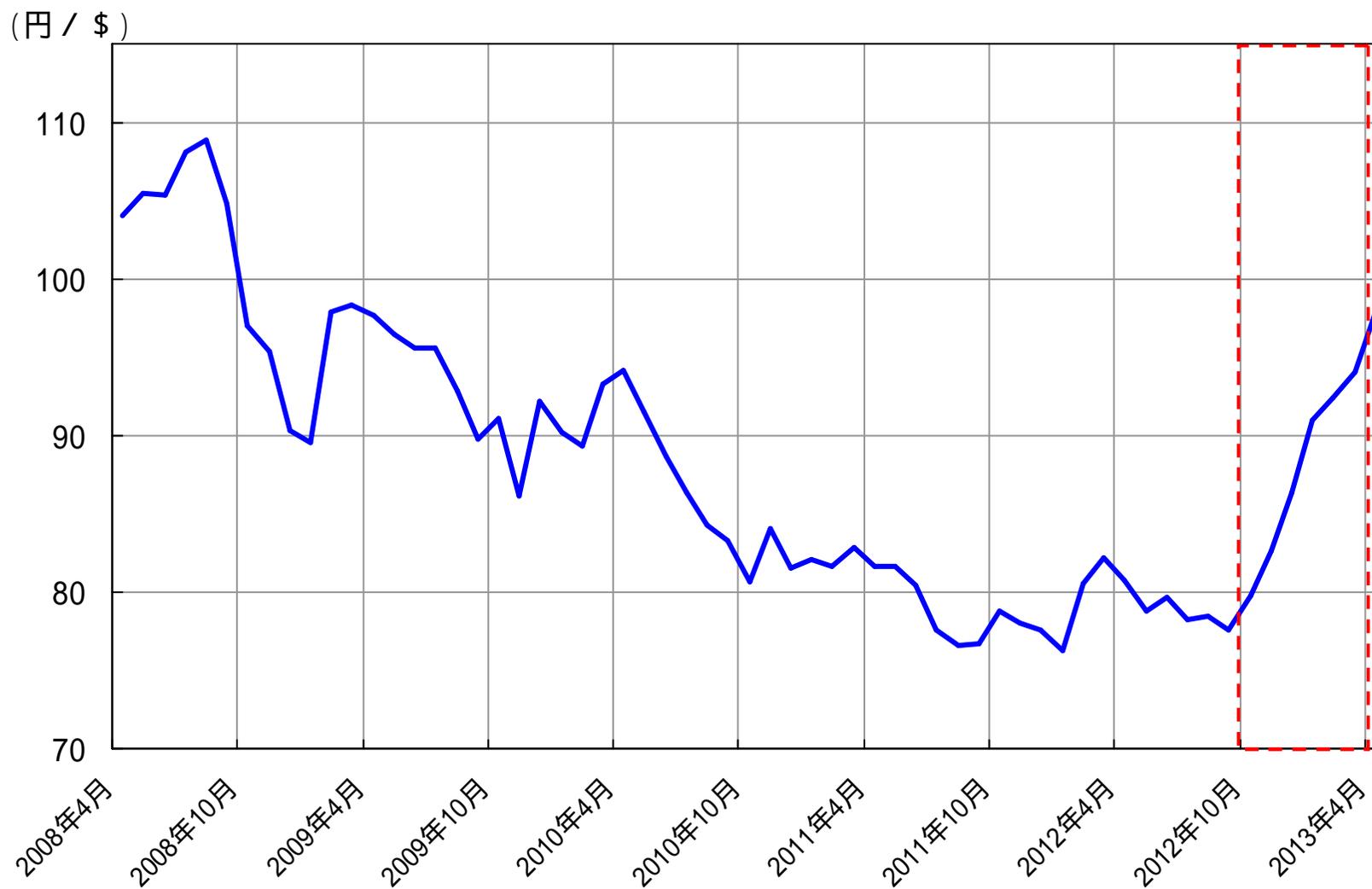
(2005年 = 100.0)

— 全業種 — 電子部品・デバイス工業

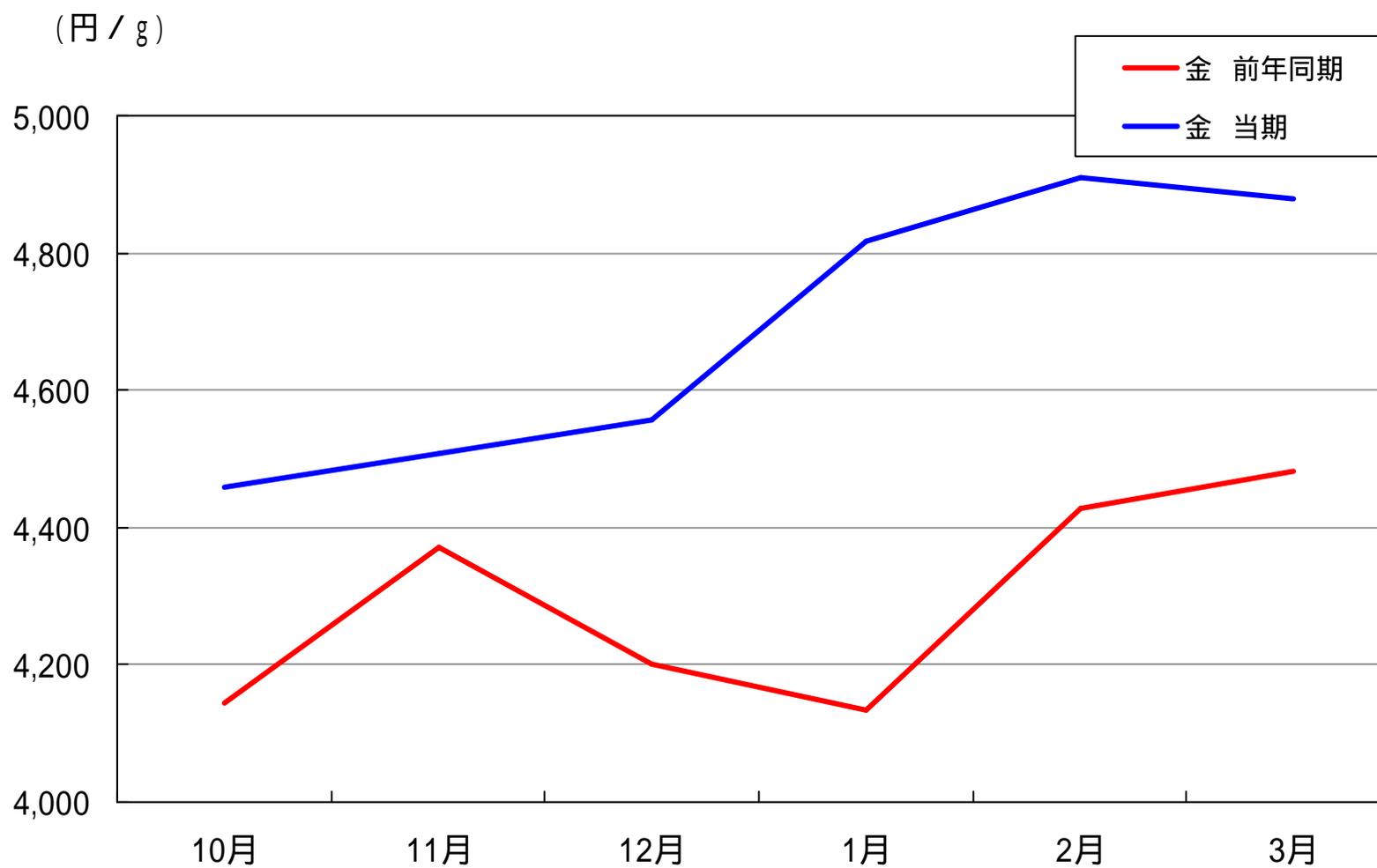


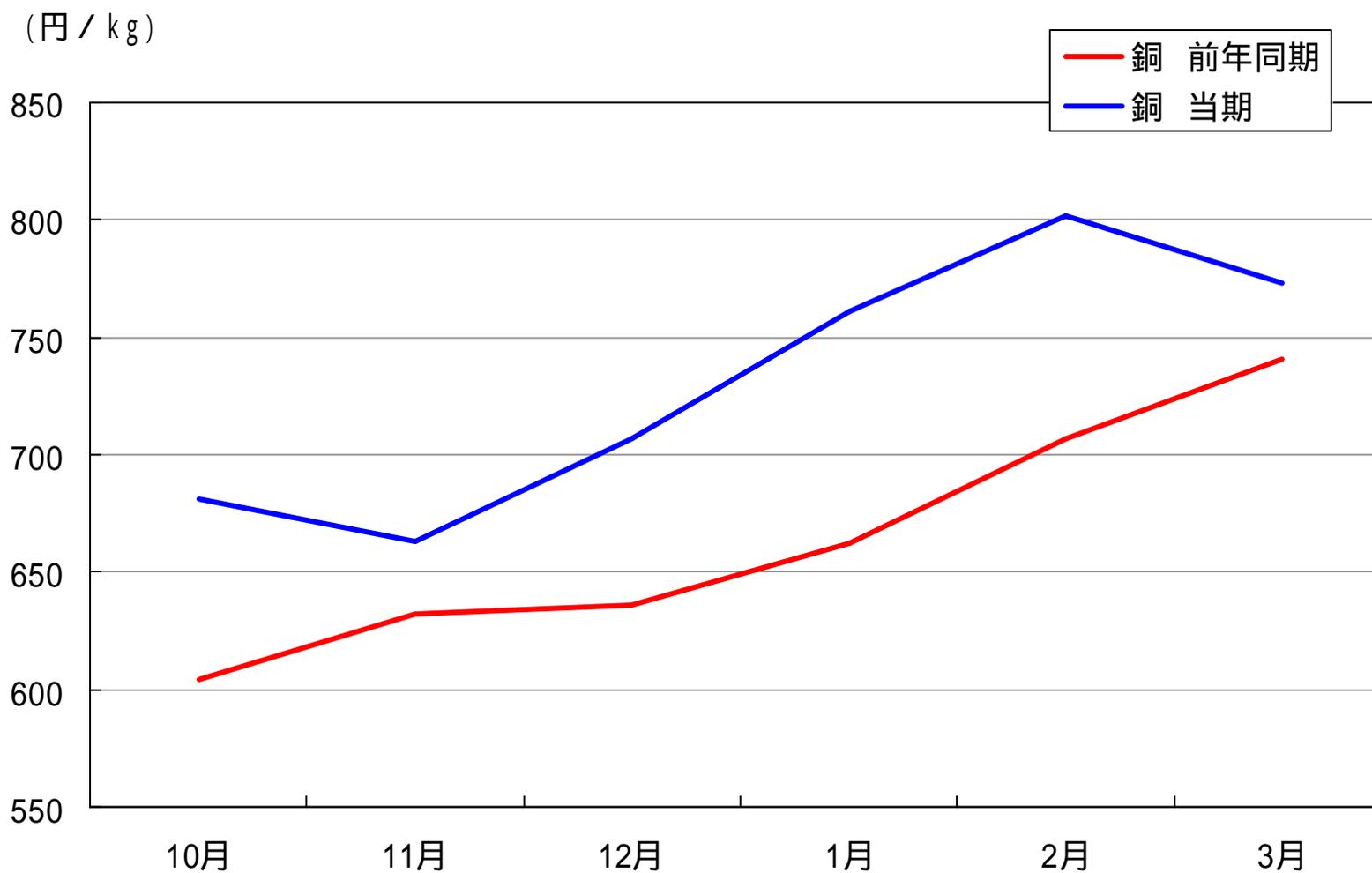
出所：経済産業省発表 鉦工業指数(生産・季調済み)

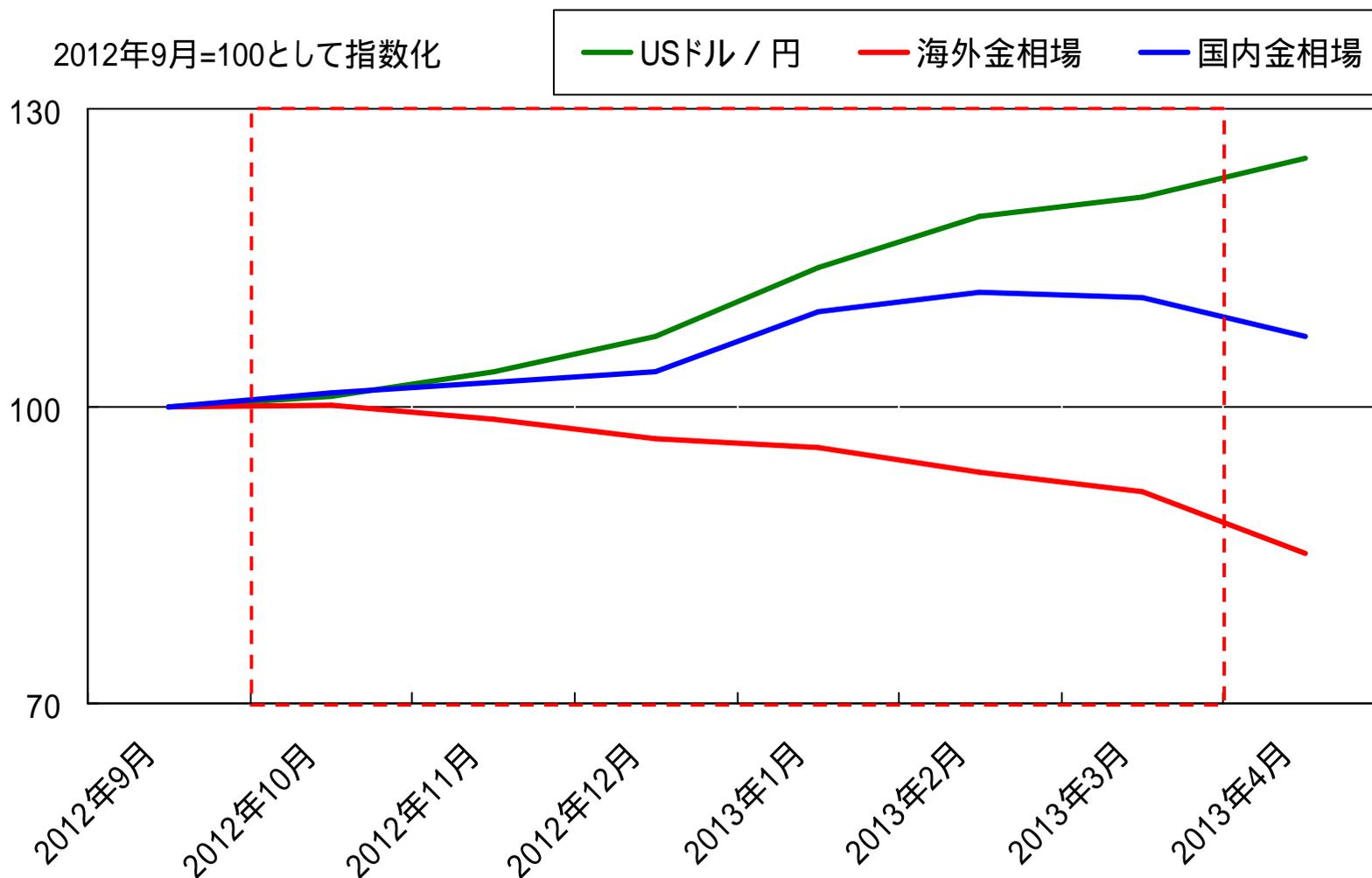




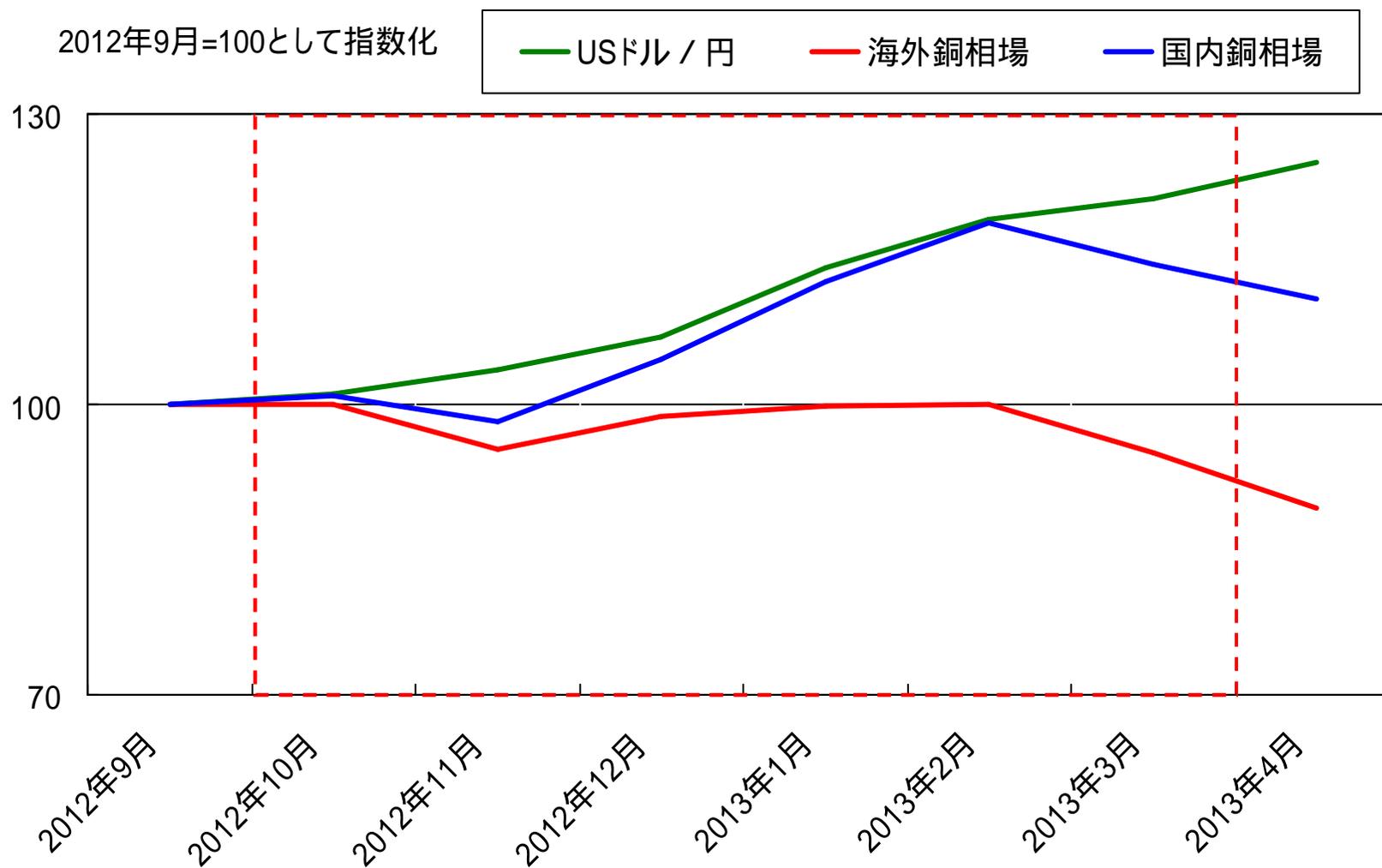
出所: 日本銀行







出所：日本銀行(為替)、三菱商事(金)、MetalPrice.com(海外金) いずれも月平均



出所: 日本銀行(為替)、産業新聞(国内銅)、MetalPrice.com(海外銅) いずれも月平均

□ 国内景気

- ▶ 世界経済の持ち直し、堅調な個人消費や公共投資、
鉱工業生産の回復、円安・株高
景気後退に下げ止まり感

□ 電子部品・デバイス工業

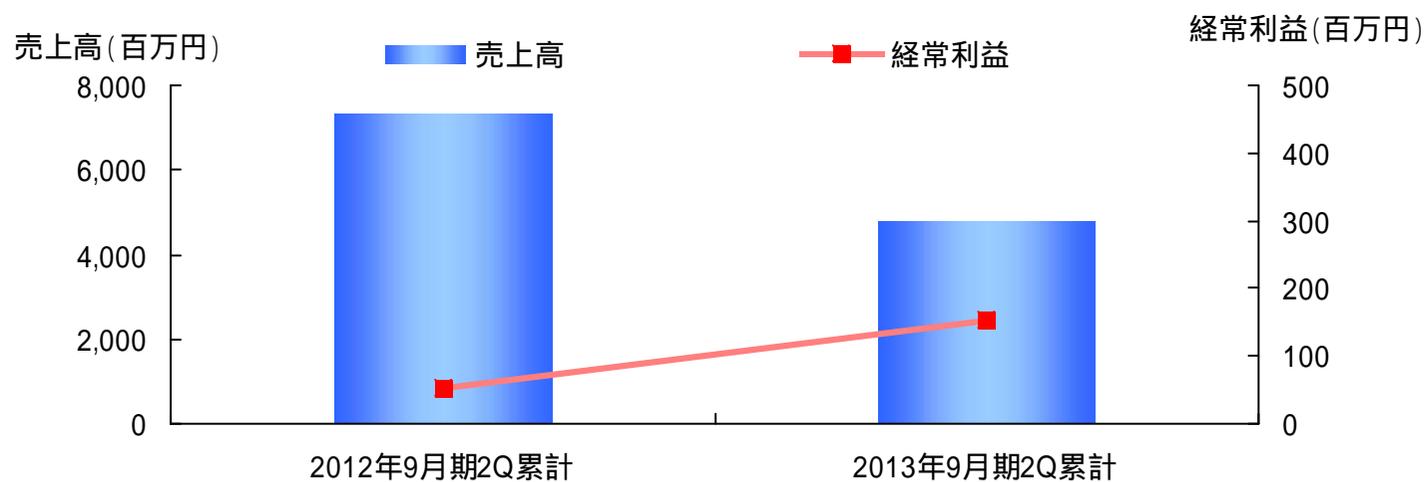
- ▶ 生産活動は弱含みで推移

□ 金属価格

円安の影響で高値で推移

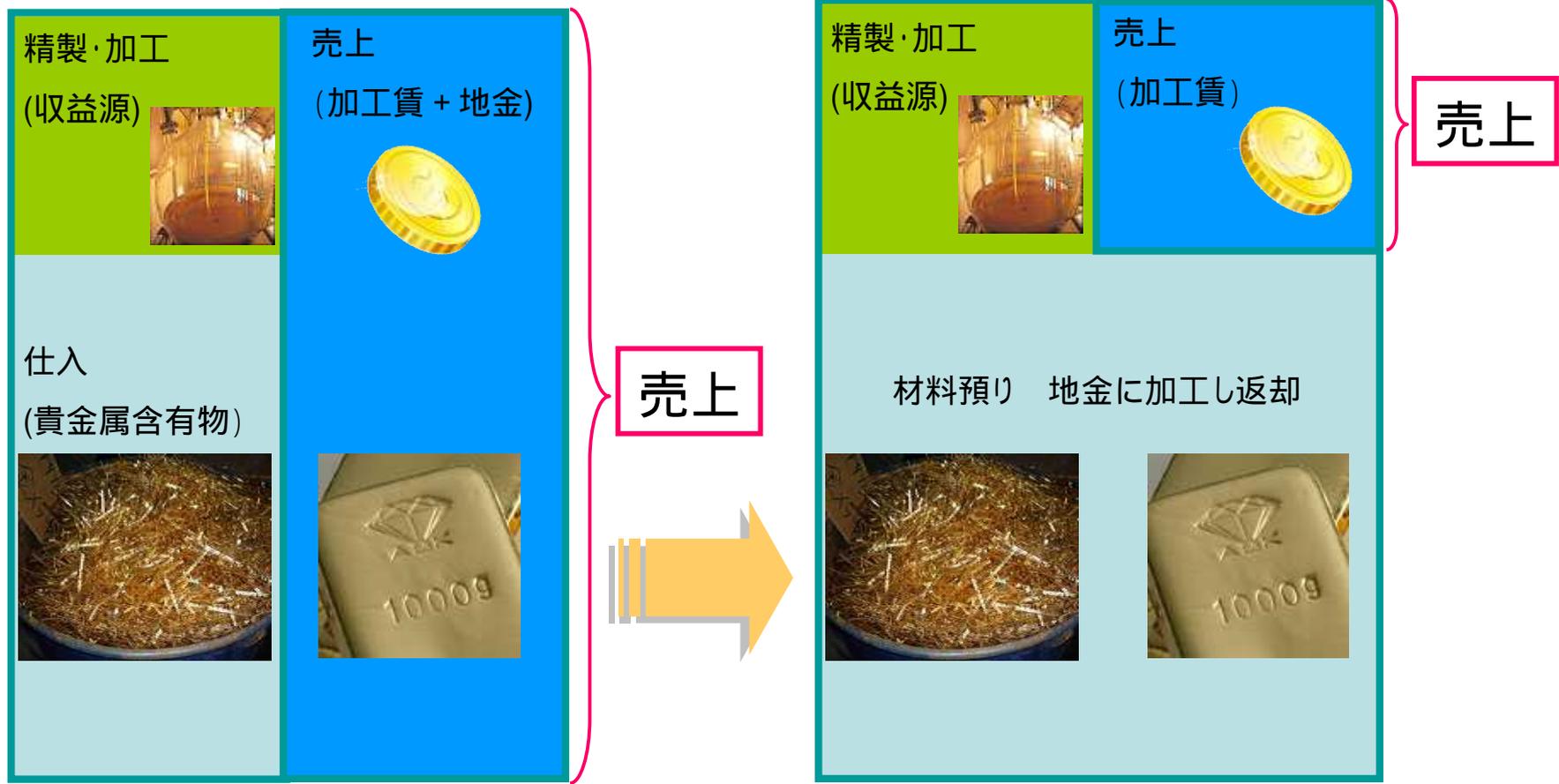
- ▶ 国内金相場は高値で推移
- ▶ 国内銅相場も高値で推移

	2012年9月期 第2四半期累計	2013年9月期 第2四半期累計		
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	前年同期比	
			増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	7,322	4,781	2,540	34.7
売上総利益	842	802	39	4.7
営業利益	165	152	13	8.2
経常利益	52	154	101	193.2
純利益	29	95	66	224.1



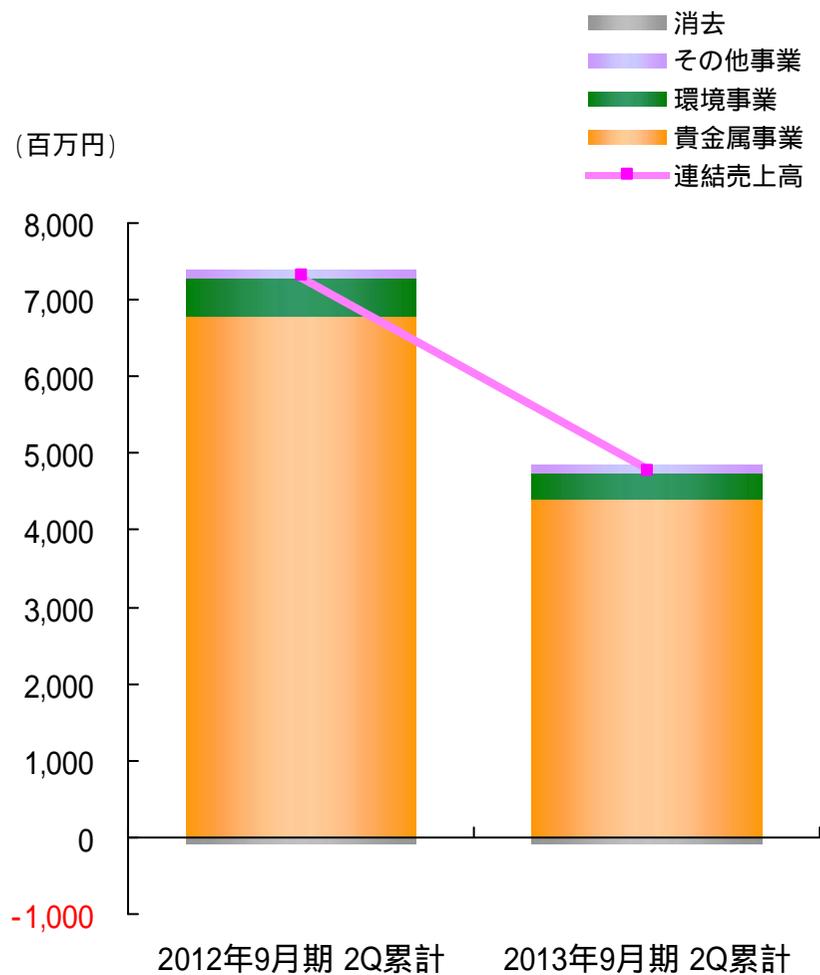
■ 売買取引

■ 受託加工取引

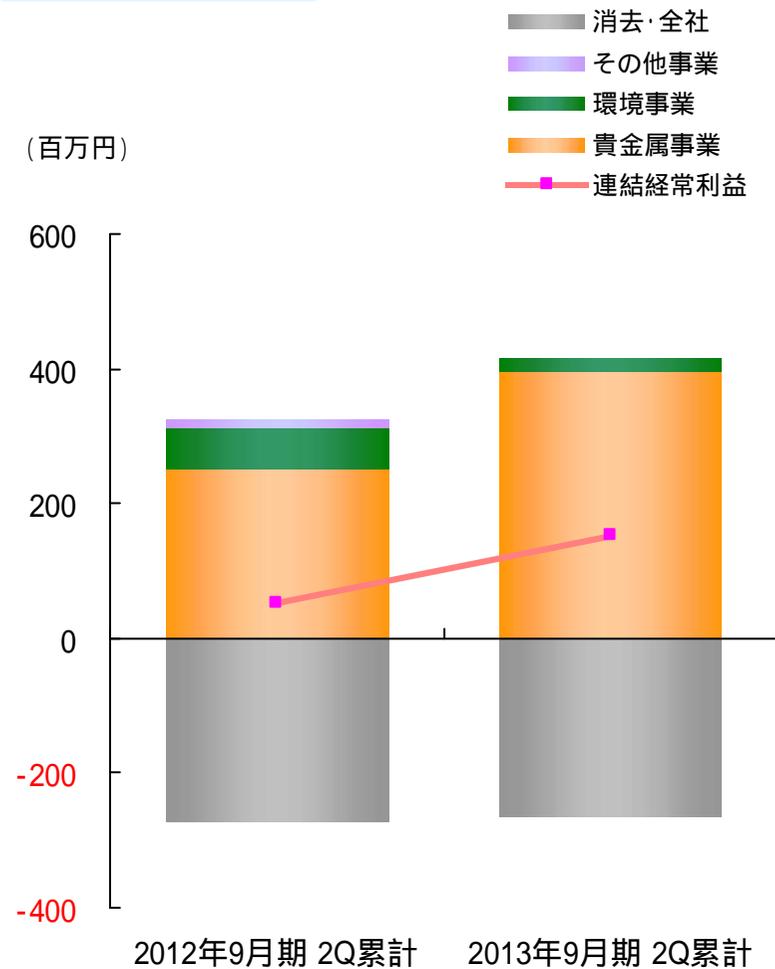


	2012年9月期 第2四半期累計		2013年9月期 第2四半期累計			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	前年同期比	
					増減額 (百万円)	増減率 (%)
連結売上高	7,322		4,781		2,540	34.7
貴金属事業	6,785	91.7	4,398	90.5	2,387	35.2
環境事業	505	6.8	360	7.4	145	28.8
その他事業	107	1.5	99	2.0	8	7.8
計	7,399	100.0	4,857	100.0	2,541	34.3
消去	77		76		0	-
連結経常利益	52		154		101	193.2
貴金属事業	252	77.6	396	95.3	144	57.2
環境事業	61	18.8	21	5.2	39	64.4
その他事業	11	3.6	2	0.5	13	-
計	325	100.0	416	100.0	91	28.0
消去・全社	272		261		10	-

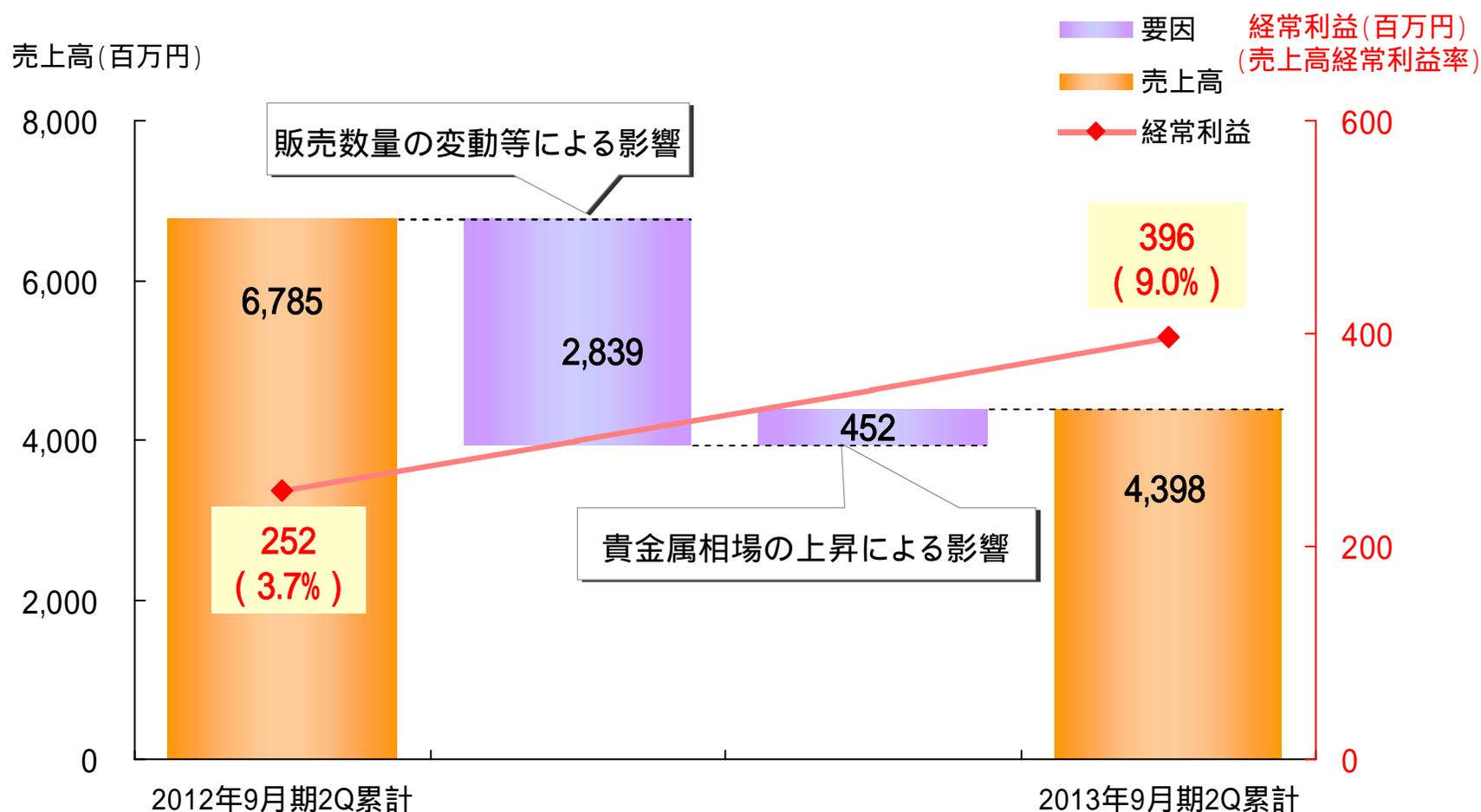
売上高



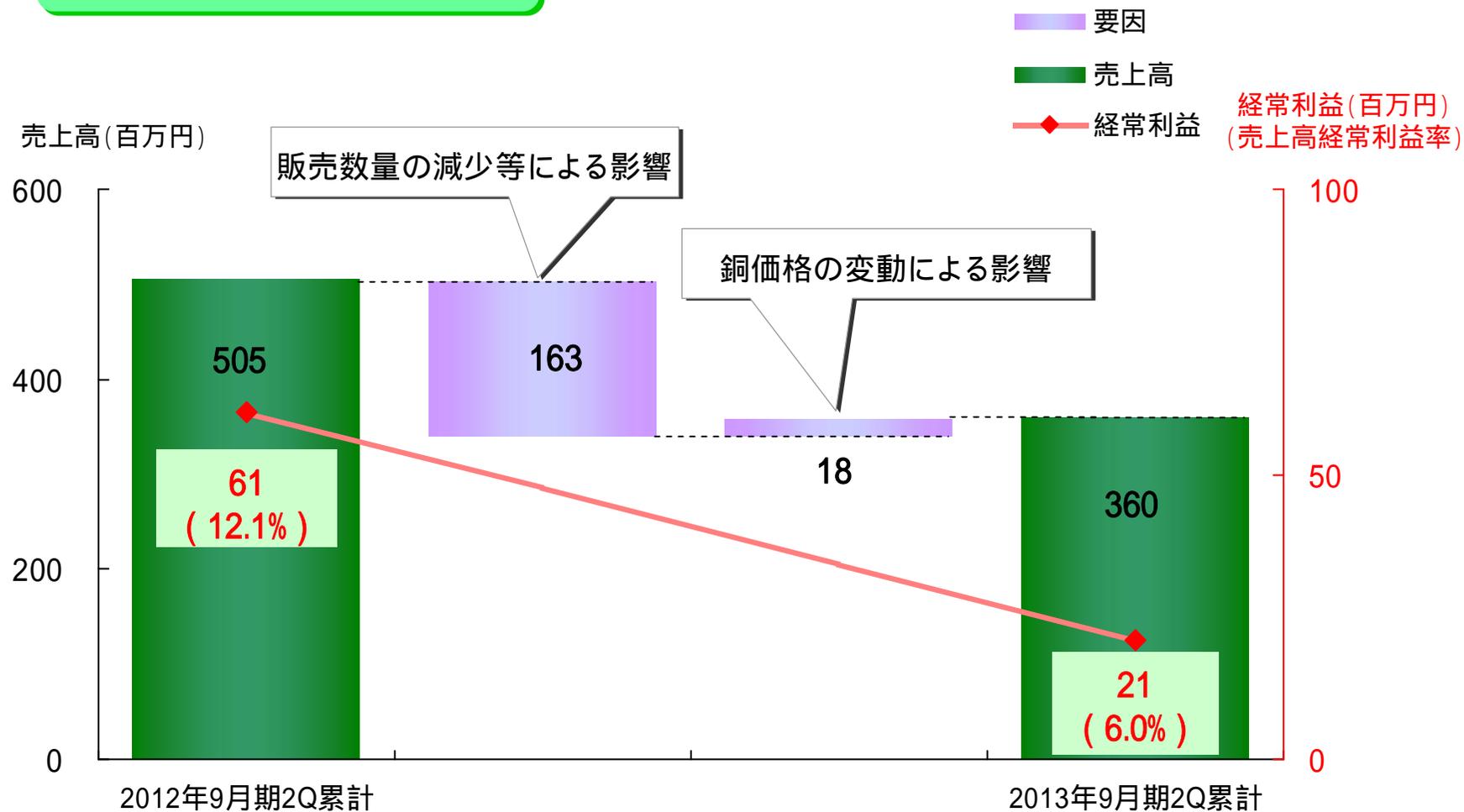
経常利益



貴金属事業



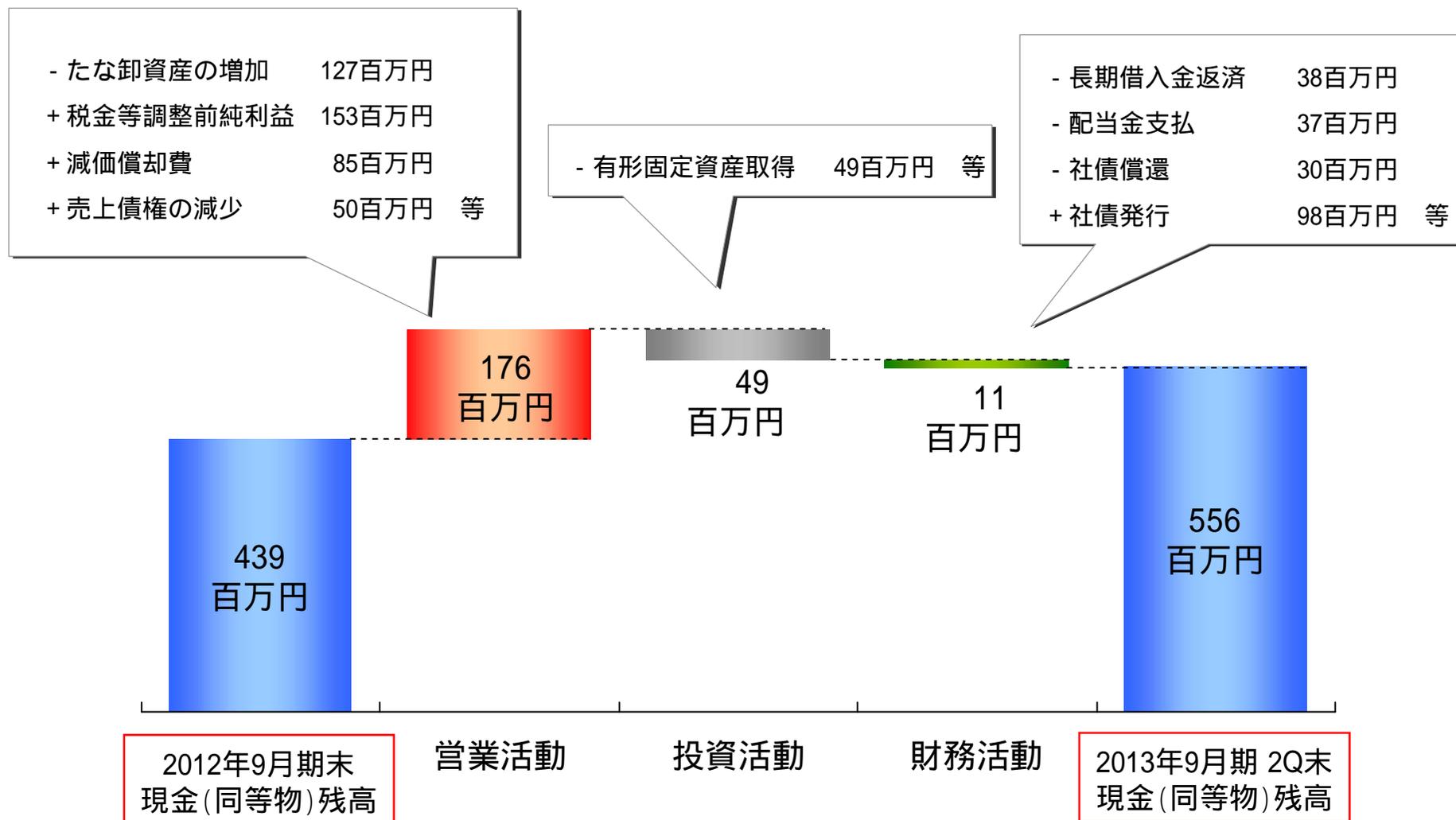
環境事業



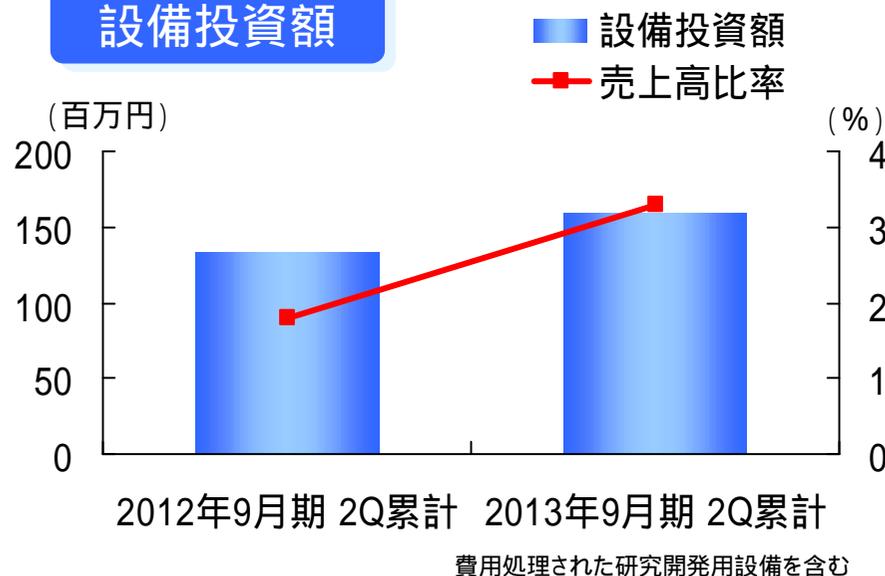
	2012年9月期 第2四半期累計		2013年9月期 第2四半期累計			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	前年同期比	
					増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	7,322	100.0	4,781	100.0	2,540	34.7
売上原価	6,479	88.5	3,978	83.2	2,501	38.6
売上総利益	842	11.5	802	16.8	39	4.7
販管費	676	9.2	650	13.6	25	3.8
営業利益	165	2.3	152	3.2	13	8.2
営業外収益	10	0.1	16	0.4	6	61.7
営業外費用	123	1.7	14	0.3	108	88.2
経常利益	52	0.7	154	3.2	101	193.2
特別利益	-	-	-	-	-	-
特別損失	0	0.0	0	0.0	0	27.8
純利益	29	0.4	95	2.0	66	224.1

	2012年9月期末		2013年9月期 第2四半期末		
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	前期末比 増減額 (百万円)
流動資産	2,552	56.5	2,772	57.8	220
固定資産	1,962	43.5	2,021	42.2	58
資産合計	4,514	100.0	4,794	100.0	279
流動負債	1,344	29.8	1,739	36.3	394
固定負債	1,054	23.4	872	18.2	182
負債合計	2,399	53.1	2,611	54.5	212
純資産合計	2,115	46.9	2,182	45.5	67
負債純資産合計	4,514	100.0	4,794	100.0	279

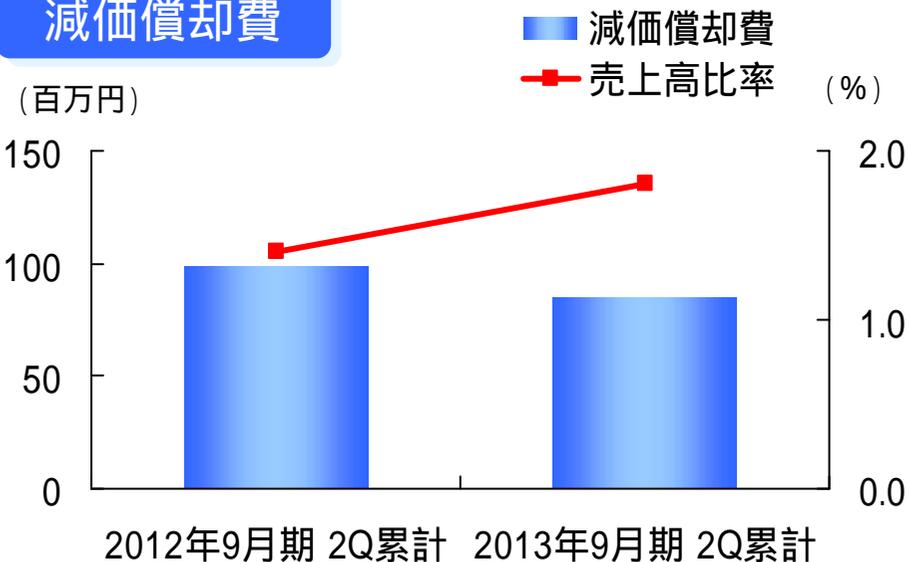
資産合計 + 279百万円 現金及び預金 + 116百万円、受取手形及び売掛金 50百万円、商品及び製品 + 80百万円
 仕掛品 + 49百万円
 負債合計 + 212百万円 社債 + 70百万円、長期借入金 38百万円、未払金 + 71百万円、借入金地金 + 61百万円
 純資産合計 + 67百万円 利益剰余金 + 58百万円



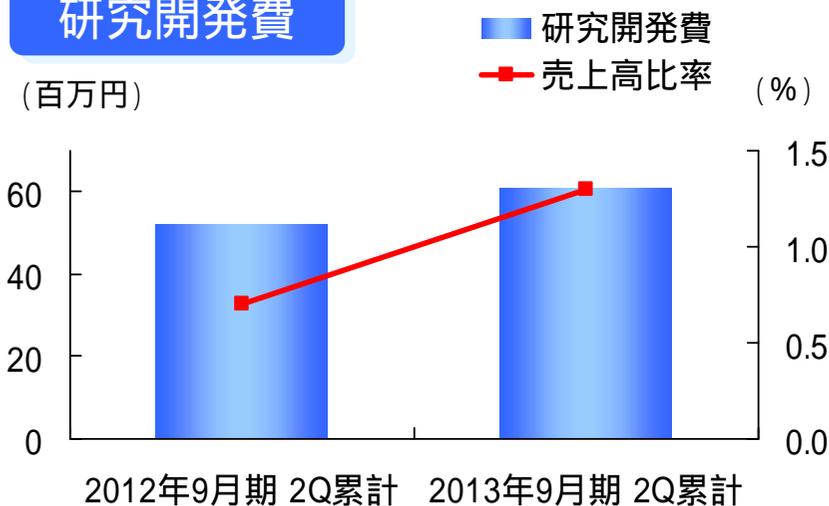
設備投資額



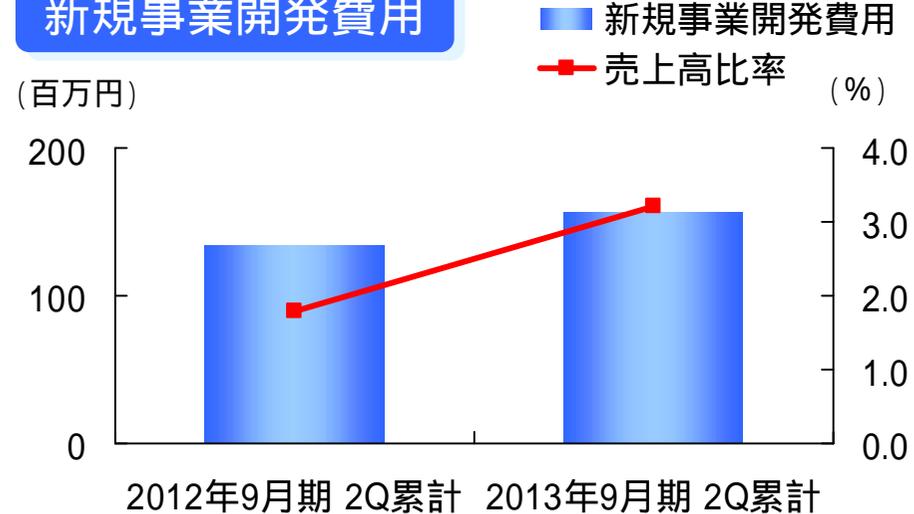
減価償却費



研究開発費



新規事業開発費用



- 第一部 2013年9月期 決算実績
- 第二部 2013年9月期 業績予想
- 第三部 経営戦略と新規事業開発について

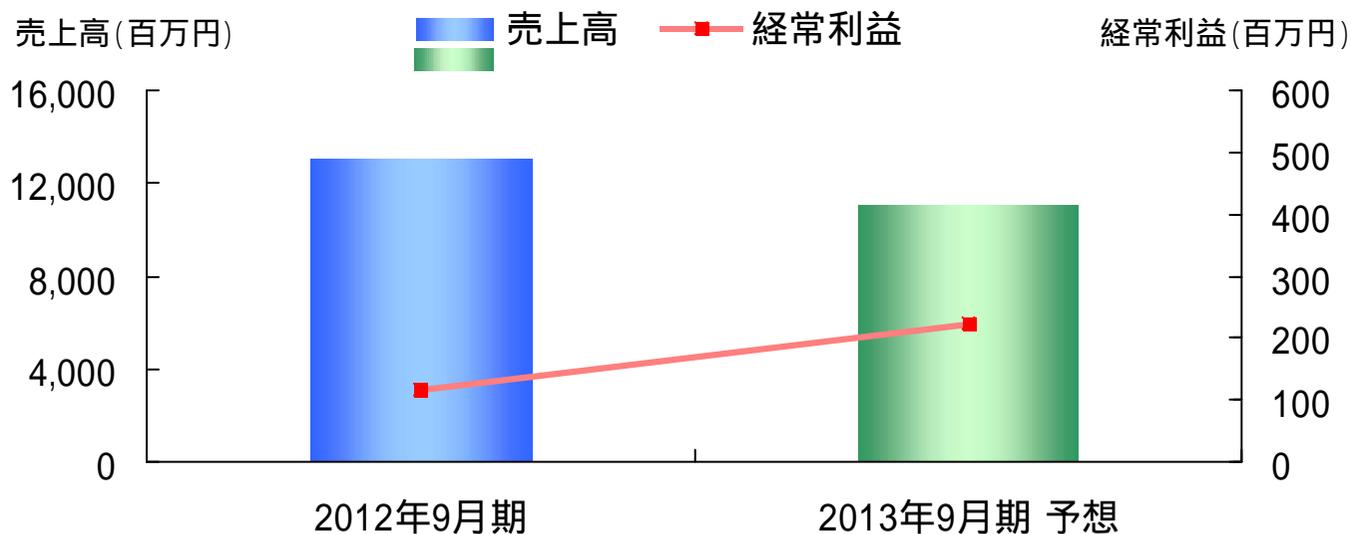
□ 今後の経済・市場環境

- 国内外経済は改善の兆しが見えはじめた
- 電子部品・デバイス分野の国内生産は先行き不透明

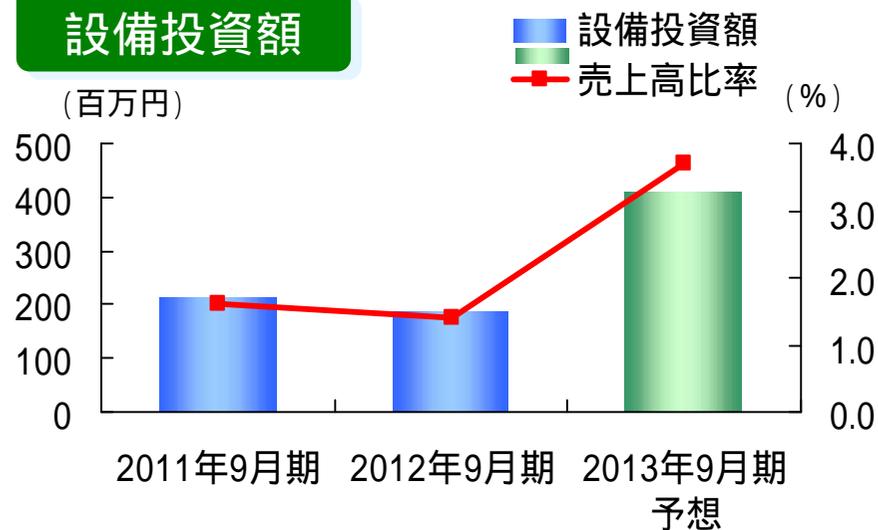
□ 貴金属、銅の市況

- 国内金属価格は現時点では高値を維持。ただし主要因は円安
- 4月の金価格急落など乱高下の様相も
- 海外は金相場が依然として下落基調、銅相場も足元弱含み
- 想定価格は金 4,200円 / g、銅 600千円 / tで据え置き

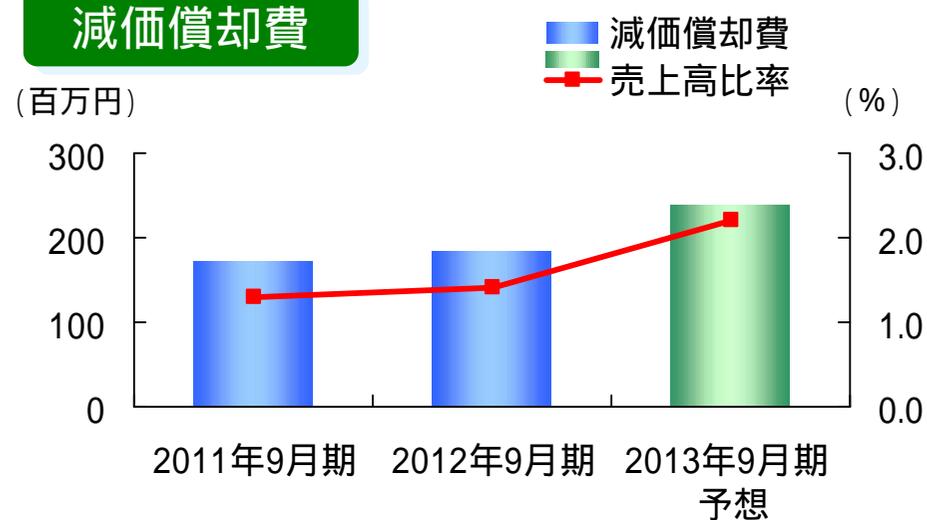
	2012年9月期		2013年9月期 予想			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	前期比	
					増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	13,093	100.0	11,099	100.0	1,993	15.2
売上総利益	1,595	12.2	1,619	14.6	24	1.5
営業利益	249	1.9	252	2.3	3	1.2
経常利益	118	0.9	225	2.0	106	89.7
当期純利益	73	0.6	122	1.1	48	66.2



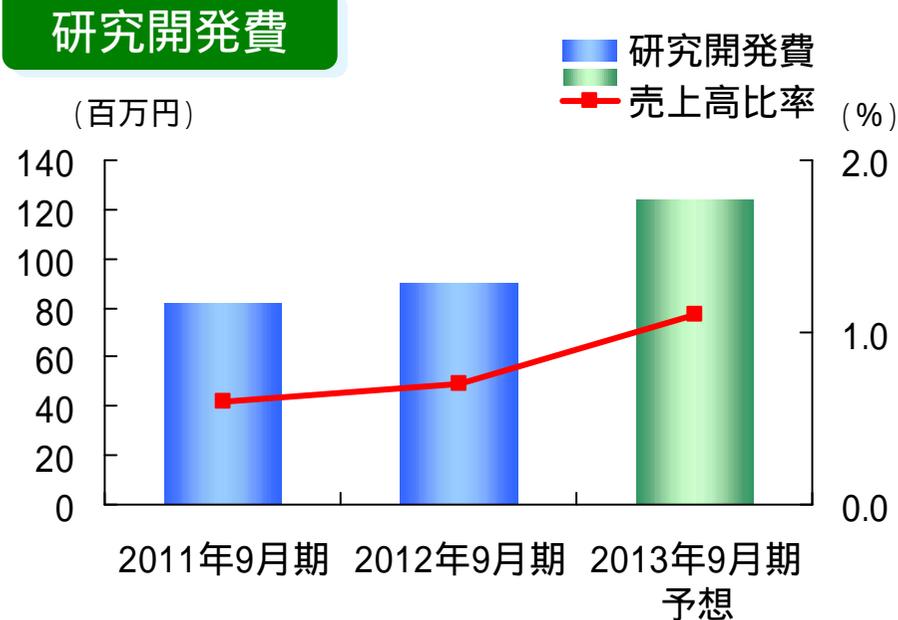
設備投資額



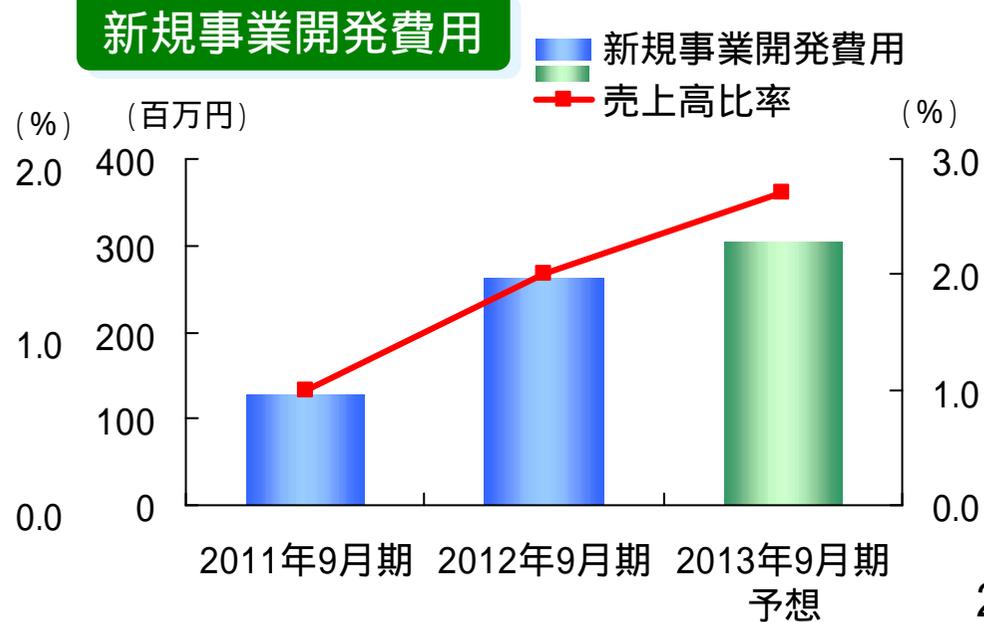
減価償却費



研究開発費



新規事業開発費用





連結損益予想

株式会社アサカ理研

	2012年9月期		2013年9月期 予想			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	前期比	
					増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	13,093	100.0	11,099	100.0	1,993	15.2
売上原価	11,497	87.8	9,480	85.4	2,017	17.5
売上総利益	1,595	12.2	1,619	14.6	24	1.5
販管費	1,345	10.3	1,366	12.3	21	1.6
営業利益	249	1.9	252	2.3	3	1.2
営業外収益	22	0.2	11	0.1	11	48.9
営業外費用	153	1.2	38	0.3	114	74.8
経常利益	118	0.9	225	2.0	106	89.7
特別利益	6	0.1	0	0.0	6	100.0
特別損失	1	0.0	0	0.0	1	100.0
当期純利益	73	0.6	122	1.1	48	66.2

- 第一部 2013年9月期 決算実績
- 第二部 2013年9月期 業績予想
- 第三部 経営戦略と新規事業開発について

□ 当社のこれまでの業績の特徴

- 外部環境に左右されやすい
- 外部環境とは、電子部品・デバイス工業分野の生産動向や貴金属及び銅の価格変動

□ 安定した成長に向けた新規事業開発の取り組み

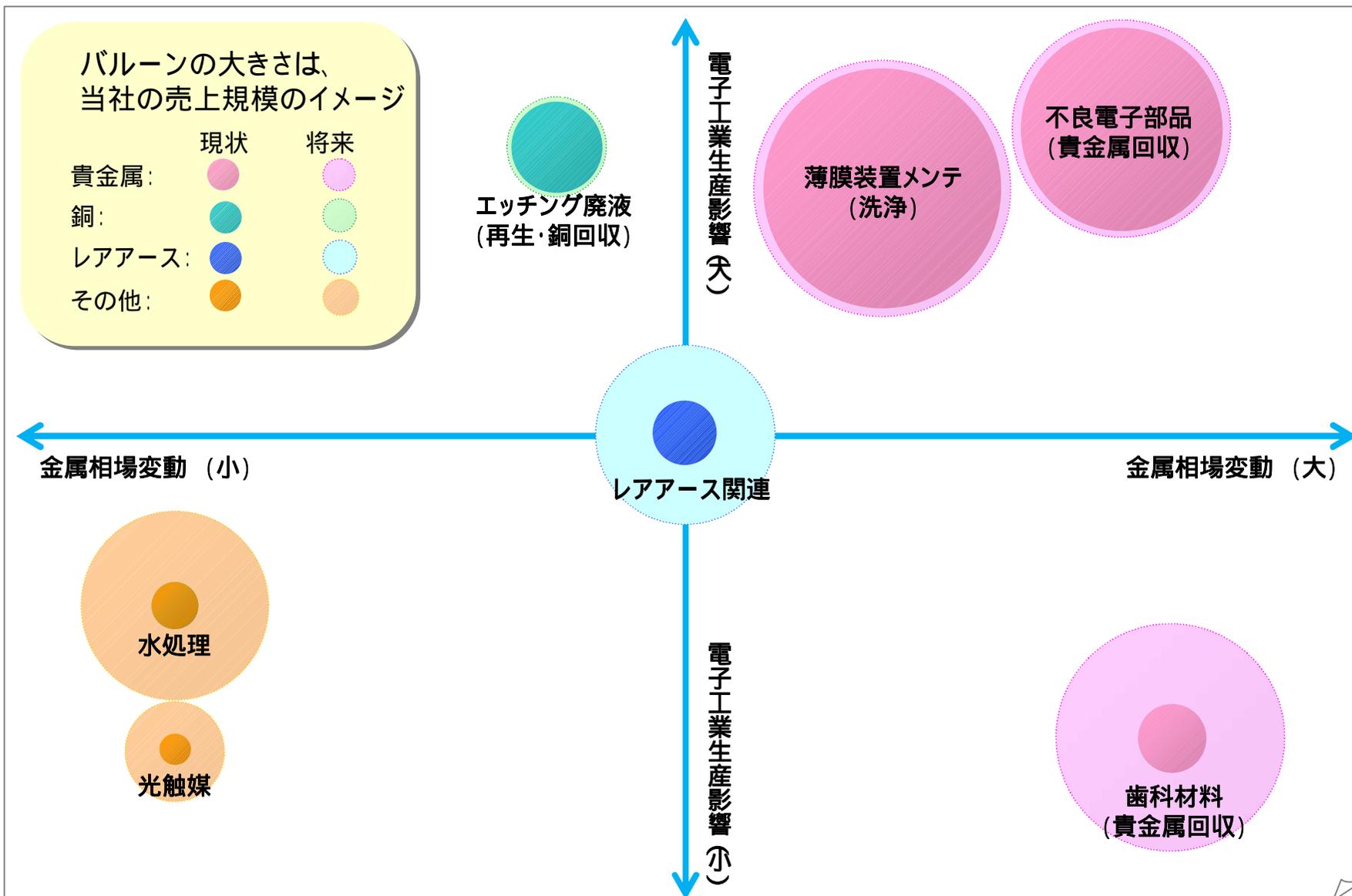
- 外部環境の影響を受けにくい事業構造を実現し、安定した成長を目指す
- 新規事業開発投資を行い、新事業の創出を推進

□ 新規事業開発の基本方針

- 当社のコア技術を活かしながら、市場またはお客様の拡大を図る
- 現行の事業をベースとして、海外に進出する

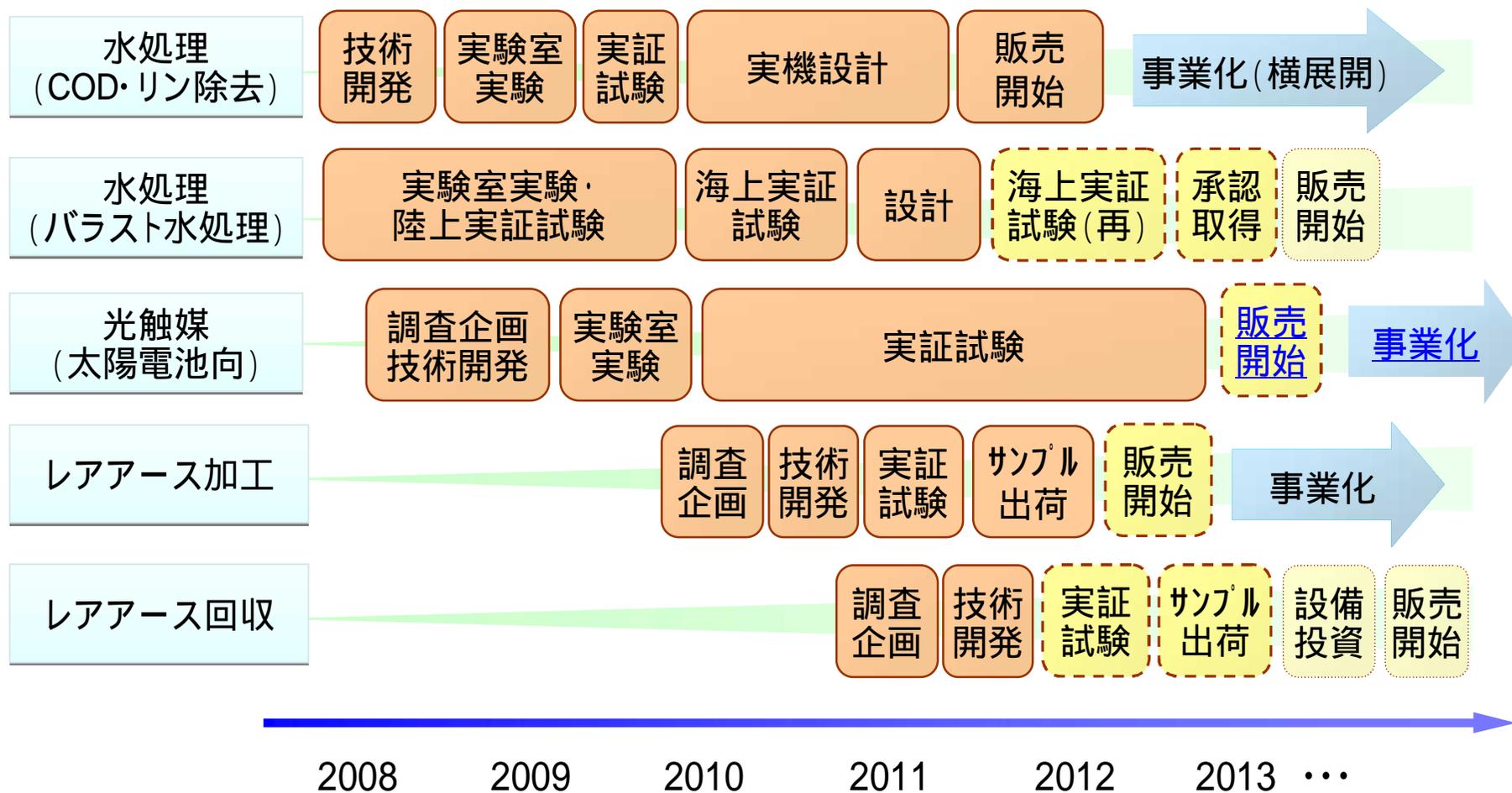
コア技術を活かし新規事業の開発に積極的に取り組む

事業	技術的な関連と特徴
レアアース関連事業	溶媒抽出技術を活かし、補助金を活用して、先行利益を目指す
歯科材料からの貴金属回収	貴金属回収技術をベースに、新しいビジネスモデルで勝負する
水処理事業	触媒技術を活かし、大手事業者と提携して、海外市場も狙う
光触媒事業	触媒技術、無機薬品技術を活かし、再生可能エネルギー分野へ進出する
海外事業	貴金属のコア技術で、新興国市場の取り込みを狙う



着実に結実へと向かう新規事業

事業	現状
レアアース加工事業	現在操業中で売上に貢献
レアアース回収事業	実証設備の設計段階
歯科材料からの貴金属回収	単月ベースで黒字化を達成 独自のビジネスモデルで拡大図る
水処理事業	上期、大手企業とOEM契約締結 来期以降に収益寄与
光触媒事業	上期、大手企業より製品受注 下期に出荷を開始
海外事業	M&Aの活用も視野に、現地市場を調査



凡例: 実績 進行中 将来予測 → 事業化

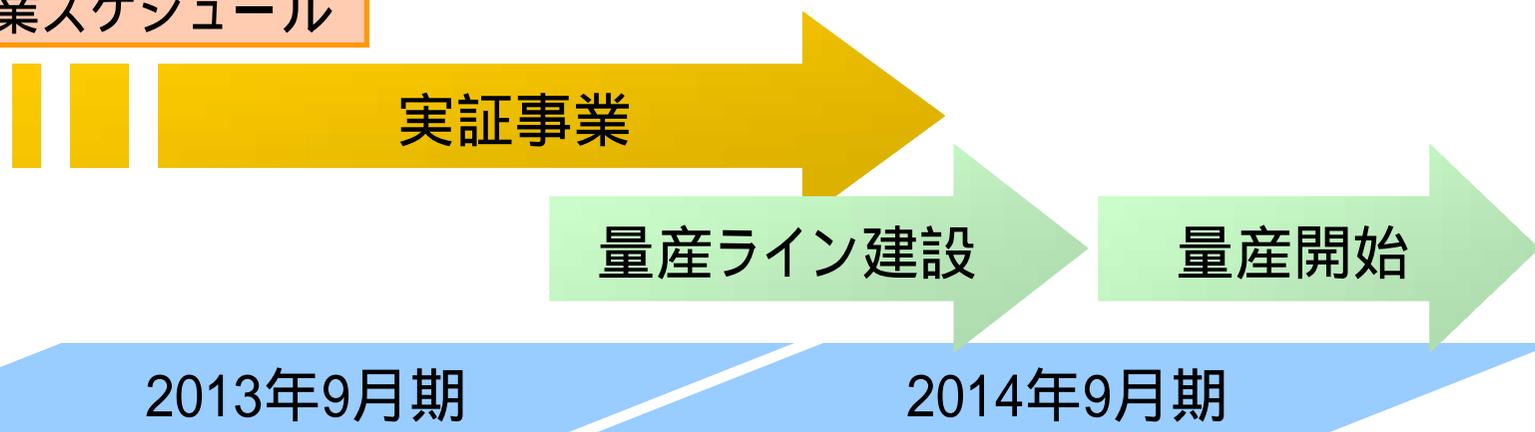
平成23年度「レアアース・レアメタル使用量削減・利用部品代替支援事業（二次公募）」に採択

件名「ランタン及びガドリニウム精製の事業化に向けた実証事業」
現在廃棄物として埋め立て処理されているレアアースを回収し、
高純度原料として再資源化する事業

当社は、約6億円の事業費に対し、約4億円の補助を受ける
事業用地取得のため、地元自治体の補助金を申請

(独)日本原子力研究開発機構、(株)MTC(商社)との共同事業

事業スケジュール





お問い合わせ先

株式会社アサカ理研

 IRに関するお問い合わせは下記までお願いいたします。



株式会社アサカ理研 管理本部

〒963-0725

福島県郡山市田村町金屋字マセ口47番地

TEL: 024(944)4744

FAX: 024(944)4749

E-MAIL: ir@asaka.co.jp

URL: <http://www.asaka.co.jp/>

- ❖ 本書には、当社及び当社グループに関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により、実際の業績が本書の記載と著しく異なる可能性があります。
- ❖ 別段の記載がない限り、本書に記載されている財務データは日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- ❖ 本書は、いかなる有価証券の取得の申込みの勧誘、売付けの申込み又は買付けの申込みの勧誘(以下「勧誘行為」という。)を構成するものでも、勧誘行為を行うためのものでもなく、いかなる契約、義務の根拠となり得るものでもありません。